

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2009 年 5 月 4 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
新潟商	( 25 1st 33 21 2nd 19 20 3rd 19 18 4th 16 OT )	洛 南
84 ●		87 ○

主審:Referee 緒方 崇 東京都  
副審:Umpire 柘屋 章 秋田県  
テーブル・オフィシャル:Table officials 能代工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	小野寺 弘晃	CAP	4	0	2	0	2	4	×	蛭名 涼	CAP	10	0	4	2	0
5	×	新保 寛人		17	3	4	0	1	5	×	小林 遥太		8	0	4	0	4
6	×	田村 亮		6	0	2	2	2	6	×	鈴木 高範		19	3	5	0	0
7	/	青山 充		-	-	-	-	0	7	/	河上 宗平		0	0	0	0	1
8	/	佐藤 寛人		0	0	0	0	0	8	/	塩谷 亨		4	0	2	0	1
9	×	中村 博		11	2	2	1	2	9	/	田中 太一		-	-	-	-	0
10	/	荻野 晃平		0	0	0	0	0	10	/	鈴木 貴大		0	0	0	0	1
11	/	亀山 亮		4	0	2	0	3	11	×	木村 晃大		31	1	13	2	3
12	/	小林 力		-	-	-	-	0	12	/	笹山 貴哉		0	0	0	0	1
13	×	岩淵 俊紀		14	0	6	2	1	13	×	満山 拓未		15	5	0	0	2
14	/	鳥越 皓幾		-	-	-	-	0	14	/	竹本 隼		-	-	-	-	0
15	/	村越 俊紀		-	-	-	-	0	15	/	谷口 光貴		-	-	-	-	0
16	/	小林 裕太郎		22	2	8	0	1	16	/	大元 孝文		-	-	-	-	0
17	/	鶴巻 拓哉		3	1	0	0	2	17	/	神津 陵平		-	-	-	-	0
18	/	田宮 開		3	0	1	1	0	18	/	國政 孝人		-	-	-	-	0
コーチ		中屋 廣昭							コーチ		吉田 裕司						
アコチ		丹波 浩之							アコチ		作本 信夫雄						
合 計				84	8	27	6	14	合 計				87	9	28	4	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。新潟商は#5新保が3Pシュート、ゴール下を決めて先制する。一方、洛南も#11木村がドライブを入れて互角の立ち上がりとなる。しかし、新潟商はディフェンスを厳しくし、速い展開から#5新保の3Pや#6田村のドライブなどで14-5とリード。洛南はオフェンスでのミスが重なり残り6:40でタイムアウトを取り、立て直しを図る。ここから中と外をバランスよく攻め、#11木村のドライブや#6鈴木、#13満山の3Pで一気に逆転。新潟商も残り3:30でタイムアウトを取り食い下がるが流れは変わらず、25-33と洛南リードで第1Qを終了。

第2Qに入ると、それまでの流れとは一変し、スローペースで進む。出だし、洛南は#11木村のゴール下や3Pで差を広げる。新潟商は中を崩せず、外からのシュートが多くなり、攻めが単調となる。#13岩淵が一人気を吐く。その後試合がやや膠着状態となるものの、洛南は#6鈴木や#13満山が効果的にシュートを決め、主導権を渡さない。新潟商も#5新保や#16小林の3Pなどで徐々に差を詰めるが、結局46-52と洛南リードは変わらず第2Qを終える。

第3Q、洛南はやや疲れが見え、シュートが落ち始める。一方、新潟商はディフェンスが激しくなり、中を押さえることに成功。速攻が決まり始める。また、速いパス回しから中も攻めて差を詰めていく。しかし洛南も大事なところで#4蛭名や#11木村が確実にシュートを決め、一進一退の攻防となる。66-71と洛南リードのまま第3Qを終了する。

第4Q出だし、新潟商が速い動きから#4小野寺などがシュートを決め、一気に流れをつかむ。洛南は動きが鈍くなり、シュートが決まらず苦しい展開。残り4:50でタイムアウトを取るものの、直後、新潟商は#5新保の外角、#16小林の速攻で連続得点し、80-77と逆転に成功。このまま一気にたたみかけるかと思われたが、逆転直後にオフェンスでミスが続く。洛南は#4蛭名と#11木村がパスカットから立て続けに速攻を決め、80-83と再逆転する。新潟商が残り30秒を切ってからオールコートプレスで追い上げるが及ばず、84-87で、洛南が逃げ切った。